



今年の暑さも厳しいものがありましたが、皆様おかわりなくお過ごしのことと思います。この数ヶ月の間に日常生活は変化を余儀なくされ、外出の機会が減り、自宅で過ごす時間が増えました。そんな中、私が思いついたのはガーデニングです。種から育てるのは大変そうなので、苗から始めてみようと考えていたのですが、悪天候などで延び延びになってしまい、炎天下の作業を避けているうちに、いつの間にかもう秋の気配となっています。このままでは来年の春以降の開花を目指すことになりそうです。その頃には新型コロナウイルス感染症が終息していることを心から願うばかりです。

(リバーサイド病院 医師 加島 留美子)

§ 病院基本理念 「敬愛・奉仕・信頼」

§ 基本方針

- 1) 人間愛と奉仕の精神に基づき、患者様を中心とした安らぎある誠実な医療を行います。
- 2) 患者様の基本的人権を尊重すると共に、守秘義務を厳守します。
- 3) 患者様の療養生活の質の向上のみならず、社会復帰や自立した地域生活などへの支援を行います。
- 4) 患者様ならびにその家族からはもちろんのこと、地域から信頼される病院を目指します。
- 5) 上記を実行するため、職員が高い志を持って日々研鑽に努めます。

患者様権利

リバーサイド病院は以下の権利を遵守いたします。

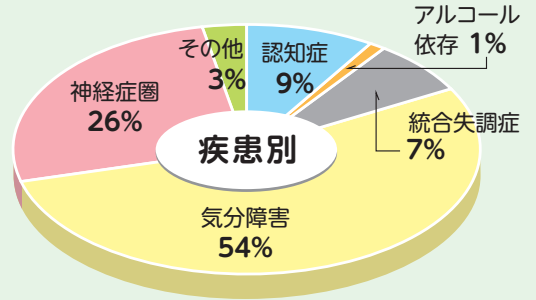
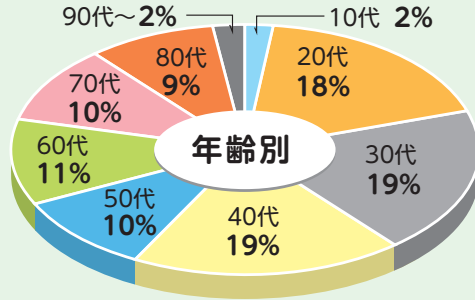
- 1、平等で最善の医療を受ける権利
- 1、安全に医療を受ける権利
- 1、治療を自由に選択し自己で決定する権利
- 1、治療内容を知る権利および知らないでいる権利
- 1、プライバシーが守られる権利
- 1、他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利（セカンドオピニオン）
- 1、通信・面会の権利
- 1、最小の制限のもとでの治療を受ける権利
- 1、苦情を申し立てる権利

リバーサイド病院

令和元年度 治療実績

初診患者
年間 509名

〔男性:249名
女性:260名〕



院内行事報告 患者レク

今年は新型コロナウイルスの影響で、供養祭と盆踊りが小規模に行われました。密にならないよう工夫をしながら、かき氷を食べたり盆踊りを踊ったりし、夏の風情を感じる事が出来た様子です。



デイケアだより

食事会

6月24日(水)・7月22日(水)
食事会を行いました。

【場所:韓国苑】(メンバー 19名参加)

今年は新型コロナウイルス感染対策で2回に分け食事会を行いました。久しぶりの食事会でわくわくした表情がメンバーから覗えました。

選択メニューで、一番人気は「牛カルビ皿」でした。



●参加メンバーからの声

- ・カルビが美味しかった。
- ・ピリ辛のお肉が美味しくてボリュームがあった。最高。
- ・食べやすかった。
- ・雰囲気良かった。

等、喜びの声を聞くことができました。感染対策で制限もありましたが、リフレッシュが出来た食事会となりました。



各病棟行事 5月 8月

1病棟



ゲーム&ソーメン

6月26日(金)、1病棟では、夏を感じて頂く

と、ゲームの合間にソーメンを味わっていただきました。ゲームは、年齢を問わず楽しんで頂けるように、昔の遊びを取り入れました。皆様楽しかったのか、時間が足りないとの声もあり、有意義な時間となりました。

2病棟



ミニ運動会

6月21日(日)、ミニ運動会を行いました。今年は

新型コロナウイルスの関係により、病院全体で行う予定の運動会が中止となり患者様は残念そうでした。中止に伴い、病棟でミニ運動会を行いました。人数が少ない中でも競技は白熱しました。とくにミニ野球は両チーム共に熱い試合となり試合後はおやつを食べて満足していただきました。

3病棟



夏のお楽しみ会

3病棟では7月中旬、夏のお楽しみ会を行い、昔懐かしいドリフを上映しながら、故志村けん

さんを見て、当時を思い出していました。「自分の若い頃はドリフ全盛期だった」と当時の生活をいきいきと話される患者様も多くおられ、いい回想が出来た様子でした。

5病棟



ソーメン食事会

7月17日(金)、レク行事にてソーメンを食べました。本当は毎年ソーメン流しをする予定でしたが新型コロナウイルスの関与にて中止になりました。患者様は残念がっていましたが、美味しそうに食べる様子がみられていました。来年はソーメン流しが出来ると良いですね。

6病棟



ソーメン食事会

7月3日(金)、夏の恒例行事のソーメン食事会を開催しました。今年は残念ながら感染症予防対策でソーメンを流すことが出来ず、一人ずつ器に盛って食べる形になりましたが、皆、笑顔で美味しそうに食べていました。

ストレス対処法

その35 スキーマを修正する方法 ②



今年も前回に引き続きスキーマに挑戦して、それにより現実的なものに変えていく方法について触れていきます。スキーマに挑戦する際、例えば「不公平だ」という思いや「自分には価値がない」という考えが心の中にある場合、その評価基準を具体的に文章化してみるのも役に立ちます。人によっては漠然とそのように考えているだけで、具体的な根拠が何もありません。具体的に評価の基準を明らかにしていけば、一体何を変えればいいのか、どのように行動すればいいのか、ということがはっきりとしてきます。また、その判断が患者の心の中の個人的なものであるということがはっきりしてくることもあります。スキーマの評価はできるだけ多くの側面から行うようにするといいでしょう。すると同じ状況を、複数の視点から考えることができるということが分かってきます。例えば、ある人が「何事も早く行動できない人はダメだ」というスキーマのために悩んでいる場合には、物事によって早くしたほうが良いものと、じっくり丁寧にしたほうが良

いものがあるはずであり、その両方の視点から行動を評価したほうが良いことに気づけるようになります。さらに、スキーマには、役に立つ部分と役に立たない部分とが必ずあることを認識しプラス面とマイナス面の両面を考えられるようにしていきます。「すべての人に受け入れられないと幸せになれない」というスキーマの影響を受けて、すべての人に受け入れられるように、人間関係を良くしようと努力することは大切な事です。しかし、「すべての人」という極端な考えを持ってしまうと、自分を縛り付けてかえって苦しくなってしまいます。人によっては、ウマの合わない人もいますし、考え方の違う人もいます。そういった人とまで完全にうまくやっていくことは不可能です。そうしたことを考えることで、スキーマの利点と欠点、つまり、どこが役に立ちどこが役に立たないかをはっきりさせて、スキーマの役に立つ部分を伸ばしていくことが大切です。

(玉那覇 邦夫)

PSW(医療相談室)

— 食の支援 —



食の確保が困難な方を対象に栄養バランスの摂れた食事を自宅に配達するとともに、配食の際に安否確認を行うことにより、充実した在宅生活を支援しています。詳細については下記窓口でお尋ね下さい。

対象	65歳以上のひとり暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯	おおむね65歳未満のひとり暮らしの障がい者または障がい者のみの世帯で、障がい者手帳の交付を受けている方
窓口	担当地域包括支援センター	障害福祉課(本庁舎1F)、東部・西部保健福祉センター

部署紹介 [3病棟]

3病棟は60床の男女混合で開放病棟になっています。患者様はDrの許可があれば単独外出をしている方もいます。OTや行事は積極的に多数参加されており、比較的活動的に過ごしています。

スタッフ一同患者様のケアを協力しながら頑張っています。これからも統一した看護で努力していきたいと思います。



令和2年 永年勤続者・定年退職者 紹介



永年

工藤 昭二 看護師

多くの方にご指導いただきながらここまで務める事ができました。これからも宜しくお願いします。



永年

清水 真由美 看護師

永年勤続表彰式に出席させていただきありがとうございました。これまで配属になりました部署にて師長及びスタッフの皆様のおかげで勤務できたこと感謝しています。今後とも迷惑をおかけする事が多々あると思っておりますが宜しくお願い致します。



定年

吉高 千代美 看護師

無事に定年を迎えられ、これも皆様のおかげだと思っています。ありがとうございます。



永年

河野 幸代 看護師

永年勤続表彰を頂き感謝しています。これからも頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



永年

後藤 まゆみ 看護補助者

永年勤続表彰式に出席させていただきありがとうございます。これまで皆様のおかげでここまで務める事ができました。これからも皆様と共に一生懸命に取り組んでいきたいと思っております。



定年

山口 恵美 看護師

定年を迎えられたのも、皆さまからの支えがあったことだと感謝しています。ありがとうございます。



永年

植木 千草 作業療法士

永年勤続表彰式に出席させていただきありがとうございます。皆様のおかげでここまで続けていく事ができました。これからも患者様のQOL向上を目指していければと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。



永年

東光 涼子 栄養士

永年勤続表彰式に出席させていただきありがとうございます。ここまで続けてこられたのも皆様のおかげと感謝しております。これからも一生懸命に取り組んでいきたいと思っております。



定年

長尾 千春 看護補助者

無事に定年を迎える事ができました。これもひとえにリバーサイド病院様のおかげだと感謝しています。ありがとうございました。

追悼

青樹会会長・前理事長の荒木久嗣先生が令和2年5月1日89歳で逝去された。戦時を乗り越えた昭和1ヶタ生まれの会長は、常に前向きの猪突猛進タイプのご性格であったように思われます。奥様の則子先生の早逝を期に産婦人科から精神科・高齢者医療へと転じ、地域医療ならびに青樹会の発展に大きく寄与・貢献されました。時折医局に顔を出し、ご苦労や心配事を微塵も感じさせず、笑顔で世間話をされていたのを昨日のように思い出します。平成28年に康夫先生と理事長職を交代してからはお顔を拝見することは少なくなりましたが、昨年末医局の面々でお伺いした際には元気なご様子でした。あのかくしゃくとしたお姿をもう見る事ができず、寂しい限りです。



故 青樹会会長・前理事長
荒木 久嗣 先生

会長の目指した青樹会の理念や理想などは、康夫先生らご子息が受け継ぎ、益々発展させていくことと思います。長きに渡り、青樹会を支え続け、本当にご苦労様でした。職員一同、会長のご冥福を心よりお祈り致します。安らかに眠りください。

リバーサイド病院・院長 佐々木一郎



編集後記

今年の夏は例年に比べ気温が高く35度以上になる日も見られていますね。新型コロナウイルスの感染対策をしながら、熱中症対策も心掛けていかなければいけません。9月を過ぎてまだまだ猛暑は続くと思われるので体調には十分に気を付けてください。(長)

★所在地

TEL (097)568-7991 FAX (097)568-7992
〒870-1133 大分市大字宮崎6番地の3

★診療科目

精神科・心療内科・内科

★受付・診療時間

■初診の受付時間(月～土)

8:15～16:00 ※11:00を過ぎると午後の受付となります。

■再診の受付時間(月～土)

8:15～16:30 ※11:30を過ぎると午後の受付となります。

■診療時間(月～土)

9:00～12:00 / 13:00～17:00

※日曜・祝日は休診します。

※土曜の内科の診察は行っていません。 ※御来院の際は、保険証をお持ち下さい。

★病棟名称・入院病床数

ストレスケア病棟、一般治療病棟、社会復帰病棟、療養治療病棟、認知症治療病棟

入院病床数：234床

★交通アクセス

■JR利用

大分駅からタクシーで約10分(約6km)

■バス利用

JR大分駅前より数戸・星和台行き大分バスで約20分・光吉入口バス停で下車・徒歩約3分

■大分自動車道利用

光吉インターより、ホワイトロード・宮崎交差点を右折(約100m)



青樹会グループ

介護老人保健施設

リバーサイド百々園

大分市大字津守字山崎2742番地-1
TEL (097)567-6750

特別養護老人ホーム

リバーサイド桃花苑

大分市大字曲字箕久保320番地
TEL (097)504-7666

サービス付き高齢者向け住宅

リバーサイド希望

大分市大字曲字前田137番地
TEL (097)576-8071